

研究結果

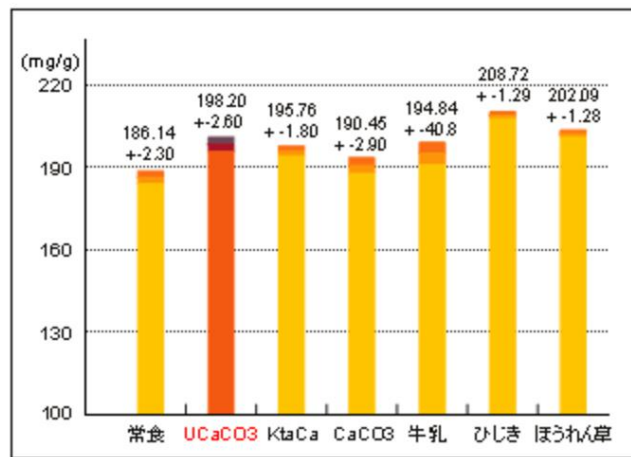
カルシウム吸収試験

生後4週齢のラットを用い、低カルシウム食の投与によって骨の虚弱状態を作り、その後正常食に変え、各種カルシウムを21日間投与することによる骨組織への影響について検討する。

結果：

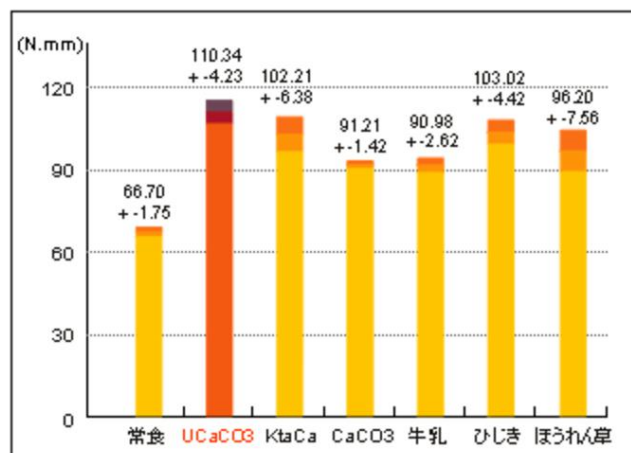
※ 1.右大腿骨のカルシウム濃度(mg/g)

常食	186.14 ±2.30
UNICAL 炭酸カルシウム	198.20 ±2.60
KtaCa	195.76 ±1.80
炭酸カルシウム	190.45 ±2.90
牛乳	194.84 ±4.08
ひじき	208.72 ±1.29
ほうれん草	202.09 ±1.28



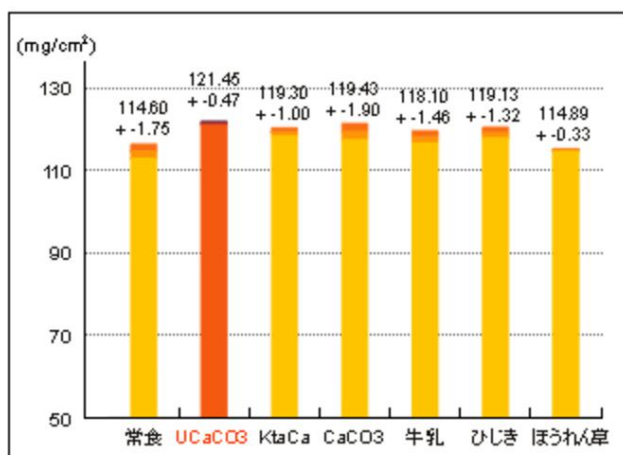
※ 2.右大腿骨の強度(N.mm)

常食	66.70 ±1.75
UNICAL 炭酸カルシウム	110.34 ±4.23
KtaCa	102.21 ±6.38
炭酸カルシウム	91.21 ±1.42
牛乳	90.98 ±2.62
ひじき	103.02 ±4.42
ほうれん草	96.20 ±7.56



※ 3.右大腿骨の骨密度(mg/cm²)

常食	114.60 ±1.75
UNICAL 炭酸カルシウム	121.45 ±0.47
KtaCa	119.30 ±1.00
炭酸カルシウム	119.43 ±1.90
牛乳	118.10 ±1.46
ひじき	119.13 ±1.32
ほうれん草	114.89 ±0.33



検討：

一旦虚弱になった骨には、普通の食事（人の平均では600mg/日Caの摂取）よりもさらにCaの補充（人の場合は食事のCaよりもさらに600mg/日 追加）した方が骨組織におけるカルシウム含有量、骨硬度及び骨密度の加強効果において有効であった。その中でもユニカルCaCO₃における加強効果はすべての項目において最も有効であった。